



被災地の子どもの 居場所づくりに係る アンケート結果

このアンケートは、「被災地の子どもの居場所づくり支援ネットワーク会議」の参考資料として活用するため、被災地で子どもの居場所づくりを行う支援団体に対しご協力をお願いしたものです。
お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。
皆様方の今後の取組に生かして頂けますと幸いです。

目 次

1. 認定 NPO 法人日本災害救援ボランティアネットワーク、 にしのみや遊び場つくろう会	1
2. かなざわっ子 nikoniko 俱楽部	2
3. NPO 法人紡ぎ組	4
4. 居ばしょ食堂	5
5. 一般社団法人みらいのともしび（能登町にプレーパークをつくる会）	6
6. 特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会	7
7. NPO 法人ワンネススクール	8
8. 一般社団法人ばいにやこ村	9
9. NPO 法人日本沼津災害救援ボランティアの会	10
10. 一般社団法人プレーワーカーズ	11
11. 特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン	12
12. 特定非営利活動法人 Chance For All	13
13. 一般社団法人力カウンセラーカレッジ石川	14
14. 石川県シェアリングネイチャー協会	15
15. 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	16
16. 認定 NPO 法人おやこの広場あさがお	17
17. ヤングケアラープロジェクトいしかわ	18
18. 避難者・被災者支援サポートボランティア「ひなさぼ」	19

団体名	認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク、にしのみや遊び場つくろう会
所在地	兵庫県西宮市
主な活動内容	子どもの遊び場,その他
その他の内容	被災地子ども支援 2024.1.6 七尾市中島小学校避難所、七尾市子ども園ひまわりの支援に入る ※1.6~3.29までの活動についてはメールの添付資料の通り
能登半島地震に係るこれまでの活動実績	<p>1. 2. 4 2月9日～11日</p> <p>前回訪問した七尾市子ども園ひまわり、中島小学校避難所、そして輪島中学校避難所、輪島市青年会議所を訪問する。←</p> <p>ひまわり園では前回どんな支援が必要かとの問い合わせに「子ども達に楽しい時間を」ということでペーパーサークやゲームをして、子ども達や先生方が楽しんでもらった。子ども達の外遊びが十分できていない現状に「出前プレーパーク」のことを話すと園長先生は興味を示され、近くの県立公園を紹介されたので出前プレーパークの下見に行った。←</p> <p>中島小学校避難所では学童保育の指導員さんを紹介してもらって現状を聞いた。低学年を中心とした40人ほどいるが、常時来ているのは20人ほど。「現在は体育館が使えないので雨の時などは遊びスペースが少なく大変だ。学生ボランティアなどに来てもらえると有難い」とのことだった。出会った低学年の子ども達は人懐っこくかわいい子たちだった。こ</p> <p>子ども園ひまわりの子ども達と←</p> <p>2024.7.12 輪島市かわい保育園出前プレーパーク 2024.8.8～8.10 七尾市こども園ひまわり、中島小学校出前プレーパーク 2024.12.20 輪島市かわい保育園ミニプレーパーク 2024.3.25～3.29 輪島市、七尾市出前プレーパーク</p> <p>2025.8.25 七尾市中島保育園、中島小学校出前プレーパーク 2025.8.26 輪島市かわい保育園出前プレーパーク 2025.8.27 七尾市こども園ひまわり出前プレーパーク</p> <p>これまでの出前プレーパーク同様に、西宮市のプレーパーク常連の子どもたちが運営し、現地の子どもたちと楽しく遊ぶ場とする。</p> <p>私は阪神淡路大震災を西宮市で被災し、その4年後に保護者や若者とプレーパーク団体（にしのみや遊び場つくろう会）を作った。日本初の「被災で被災地住民が作ったプレーパーク」と言われている。出前プレーパークは20年前の中越沖地震の刈羽村から続けているが、あくまで依頼があって出向くもので、依頼を受けるまでの関係性を構築してからである。そのためには何度も被災地に出向き、気持ちに寄り添うよう心がけてきた。だが、被災地の人たちが自ら、それも子どもたちの遊び場を立ち上げることは容易ではないと思われる。私たちのようなよそ者が、それぞれ出来る支援を続けていくことが必要ではないだろうか。長期的には支援というより交流になると思うが。</p> <p>課題と感じていること（支援を続けること）には、他団体と繋がることや、行政の支援などの協力が必要だと思われるが、他団体や行政はどう思っておられるのか。また、この居場所づくりの取り組みは今後どのようになるのか。実際、今年度の補助事業は自治体からの申請で、NPO主体では出来なかつたと思うので。</p>
夏休み（7～8月）の活動計画	
被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること	
他団体、行政に聞いてみたいこと	

認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク、にしのみや遊び場つくろう会

兵庫県西宮市

子どもの遊び場,その他

被災地子ども支援

2024.1.6

七尾市中島小学校避難所、七尾市子ども園ひまわりの支援に入る
※1.6～3.29までの活動についてはメールの添付資料の通り

メール添付資料から一部抜粋↓

1. 2. 4 2月9日～11日

前回訪問した七尾市子ども園ひまわり、中島小学校避難所、そして輪島中学校避難所、輪島市青年会議所を訪問する。←

ひまわり園では前回どんな支援が必要かとの問い合わせに「子ども達に楽しい時間を」ということでペーパーサークやゲームをして、子ども達や先生方が楽しんでもらった。子ども達の外遊びが十分できていない現状に「出前プレーパーク」のことを話すと園長先生は興味を示され、近くの県立公園を紹介されたので出前プレーパークの下見に行った。←

中島小学校避難所では学童保育の指導員さんを紹介してもらって現状を聞いた。低学年を中心とした40人ほどいるが、常時来ているのは20人ほど。「現在は体育館が使えないのに雨の時などは遊びスペースが少なく大変だ。学生ボランティアなどに来てもらえると有難い」とのことだった。出会った低学年の子ども達は人懐っこくかわいい子たちだった。こ



子ども園ひまわりの子ども達と←

・3月28日七尾小学校校庭←

中島小学校学童クラブの要望で実施。教育委員会の許可を得て全校生にデラシを配布し、学童クラブだけでなく一般の親子も訪れた。NHK石川放送局の取材の中で「地震以来あまり外で遊んでいない。遊びを持ってきてくれる人がいて嬉しい」という子どもや「家にいるとテレビやYouTubeばかりで、こんな風に友達と関わって遊ぶことができて良いと思う」との保護者の声もあった。子ども達はボール遊びやスラックラインなど、4時間程度の短い時間の中で思いっきり体を動かして遊んでいた。学童クラブのボランティアの学生の中には子どもの対応で気になる学生もいたが、それは課題で触れることとする。←



・3月29日、30日能登歴史公園（国分寺公園）←

七尾市子ども園ひまわりの要望で実施。29日に同園が園外保育に訪れる予定だったが、天候不良のため中止となる。翌日は風が強かったものの晴れとなり、市内の保育園親子をはじめとして多くの親子が訪れた。強風でびくびくブルーシートの下で遊んだり、シャボン玉をしたり、保護者は設置したカフェスペースで西宮の保護者と談笑したりしていた。何気ない居場所が必要なことが感じられた。←



2024.7.12

輪島市かわい保育園出前プレーパーク

2024.8.8～8.10

七尾市こども園ひまわり、中島小学校出前プレーパーク

2024.12.20

輪島市かわい保育園ミニプレーパーク

2024.3.25～3.29

輪島市、七尾市出前プレーパーク

2025.8.25

七尾市中島保育園、中島小学校出前プレーパーク

2025.8.26

輪島市かわい保育園出前プレーパーク

2025.8.27

七尾市こども園ひまわり出前プレーパーク

これまでの出前プレーパーク同様に、西宮市のプレーパーク常連の子どもたちが運営し、現地の子どもたちと楽しく遊ぶ場とする。

私は阪神淡路大震災を西宮市で被災し、その4年後に保護者や若者とプレーパーク団体（にしのみや遊び場つくろう会）を作った。

日本初の「被災で被災地住民が作ったプレーパーク」と言われている。

出前プレーパークは20年前の中越沖地震の刈羽村から続けているが、あくまで依頼があって出向くもので、依頼を受けるまでの関係性を構築してからである。そのためには何度も被災地に出向き、気持ちに寄り添うよう心がけてきた。だが、被災地の人たちが自ら、それも子どもたちの遊び場を立ち上げることは容易ではないと思われる。私たちのようなよそ者が、それぞれ出来る支援を続けていくことが必要ではないだろうか。長期的には支援というより交流になると思うが。

課題と感じていること（支援を続けること）には、他団体と繋がることや、行政の支援などの協力が必要だと思われるが、他団体や行政はどう思っておられるのか。

また、この居場所づくりの取り組みは今後どのようになるのか。

実際、今年度の補助事業は自治体からの申請で、NPO主体では出来なかつたと思うので。

団体名	かなざわっ子nikoniko俱楽部
所在地	石川県金沢市
主な活動内容	こども食堂,学習支援,親支援,その他
その他の内容	フードバンク事業、出張こども食堂、フードドライブ
能登半島地震に係るこれまでの活動実績	一覧にまとめてありますのでメールに添付させていただきます (一覧は次頁)
夏休み（7～8月）の活動計画	<p>7月24日 こども食堂（当施設）流しそうめん</p> <p>7月30日 ニコカフェ（当施設）保護者のための相談カフェ</p> <p>8月 3日 もってけ市（駅西健康センター）食支援＆相談会 ※子育て30世帯</p> <p>8月中 こども弁当宅配見守り事業（金沢市内）6回</p> <p>8月 9日 発達障害×お絵描き（七尾市） ※芸術ゼミの大学生が子どもに絵画の指導</p> <p>8月21日 こども食堂（当施設）流しそうめん</p> <p>8月24日 かなざわ型子ども宅食（金沢市）運営補助</p> <p>※全事業において能登から二次避難している方からも申込があります。中には、地震の影響でPTSDになりお家に子どもが一人でいることが出来なくなったなどのお話を伺ったり対処について相談に乗ったりしております。</p>
被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること	出張型でこども食堂をしながら、新規の立上を応援しておりますが、開催できる場所の確保が難しい事。 金沢の当俱楽部には食材や物資がたくさん集まりますので、これを運搬・保管（常温、冷蔵、冷凍）・配布が出来る仕組みをつくりたいと日々思っております。そうすることによって子どもの居場所を開催して下さる団体さんの経費を削減できると考えております。
他団体、行政に聞いてみたいこと	<p>①上記の保管・配布を引き受けてくださる団体はありませんでしょうか。（冷蔵庫・冷凍庫の購入費用は、こちらで補助できる可能性がございます。）</p> <p>②上記の運搬について、能登への配達をボランティア又は安価で引き受けてくださる運送業者さんまたは、それに類する団体とつないでいただきたい。頻度は月1～2回程度。予定エリアは、かほく市・七尾市・能登町・珠洲市・輪島市・志賀町</p>

令和6年能登半島地震被災者支援活動一覧

1月	
1月4日	穴水役場に物資支援
1月4日	令和6年能登半島地震こども食堂基金開設
1月7・8日	避難所：輪島中学（約1000人）で炊き出し
1月11日	輪島市・穴水町に物資支援
1月14日	七尾市にてフードパントリー実施
1月15日	金沢の二次避難者向け無料こども食堂開催
1月17日	金沢の二次避難者向け無料こども食堂開催
1月19日	金沢の1.5次避難・二次避難場所視察
1月23日	七尾市に物資支援・七尾市被害視察
1月25日	金沢市に二次避難している児童に文具寄贈 ※一部損壊は国からの支援除外のため
1月25日	金沢の二次避難者向け無料弁当配布 ※行政支援が追いついていない施設向け

5月	
※平日毎日当法人施設で物資支援131世帯利用	
※被災者応援弁当毎週木曜日の5回実施	
5月5日	出張こども食堂 in輪島（正覚寺）
5月26日	二次避難者け第4回よりそいマーケット
5月4日間	被災者限定子ども服購入支援 ※被災で持出不可又は成長した子ども服購入の 為子ども3000円×100人分支援

11月	
※月1回当法人施設で物資支援48世帯利用	
11月2日	出張こども食堂 in志賀町
11月4日	出張こども食堂 in珠洲
11月9日	出張こども食堂 in田鶴浜
11月24	被災者・困窮者向け冬服もってけ市 ※辰巳丘高校にて中古冬服1万着提供

6月	
※平日毎日当法人施設で物資支援103世帯利用	
※被災者応援弁当毎週木曜日の4回実施	
6月8日	親子よりそいカフェ※狭い部屋での 二次避難が続く親子のストレス緩和イベント
6月9日	出張こども食堂 in志賀町（2か所）
6月16日	二次避難者け第5回よりそいマーケット

12月	
12月15日	出張こども食堂 in中島
12月	お節10世帯プレゼント COOP資金
12月	Aコースお節 12世帯 Bコーススイーツおせち 11世帯 Cコース能登牛 18世帯 Dどんたく商品券等 66世帯 資金：能登未来応援プロジェクトさん 実行：当法人

「来年はお正月が何事もなく過ごせるか不安」
「仮設住宅の台所は狭くてお節をつくる気になれない」「今年は、せっかく作ったお節が全部台無しになった」「出費がかさむから正月も贅沢できん」などの被災者の方々のお声を聴いてこのイベントを企画提案いたしました。受け取った方々からメッセージが当法人に戻ってきています。

2月	
2月1日	二次避難所へお弁当配達
2月3日	輪島から金沢への引っ越し手伝い ※業者が能登の仕事を断るため
2月8日	二次避難所へお弁当配達
2月18日	二次避難者向け第1回よりそいマーケット ※物資配布と法律等相談を同時開催
2月22日	二次避難所へお弁当配達
2月29日	注文型被災者応援無料弁当開始 ※ドライブスルー形式で毎回50個以上

7月	
※月・水・金当法人施設で物資支援87世帯利用	
7月27日	出張こども食堂 in金沢学院大学 ※金沢に避難している方向け
7月11日	夏のパントリー開催（当法人施設）

8月	
※月・水・金当法人施設で物資支援23世帯利用	
8月12日	もってけ市 in輪島 ※輪島の商店 で仕入れ物品を配布（復興支援）

3月	
※平日毎日当法人施設で物資支援開始 45世帯利用	
※被災者応援弁当毎週木曜日の4回実施	
3月17日	二次避難者向け第2回よりそいマーケット
	出張こども食堂 in輪島 開催（正覚寺）
3月24日	※本堂は損壊、無事な調理場をお借り。街 中はまだ上下水道利用不可。基本仮設トイレ
3月31日	出張こども食堂 in珠洲 開催（常光寺） ※施設状況は輪島：正覚寺同様

9月	
※月二回当法人施設で物資支援48世帯利用	
9月15日	出張こども食堂 in輪島（マリンタウン）
9月21日	能登地区豪雨災害発生
	物資一戸配布支援（輪島市）
9月29日	※車が水没などで外出不可世帯多数 2トン車、ハイエース、軽トラ各1台、軽2台

4月	
※平日当法人施設で物資支援 116世帯利用	
※被災者応援弁当毎週木曜日の4回実施	
4月2・5日	支援金200万で41世帯家電応援支援※一部損 壊の場合、行政支援が無い。
4月21日	二次避難者向け第3回よりそいマーケット

10月	
※月二回当法人施設で物資支援48世帯利用	
10月6日	出張こども食堂 in七尾
10月13日	出張こども食堂 in輪島
10月23日	出張こども食堂 in能登島
10月26日	出張こども食堂 in珠洲

以上は主だった活動を拾い出しました。
1月から4月までは、被災現地での活動は我々もトイレ・水・電気・火力を自前で準備して挑む活動でした。
発災当初は、行政が個別支援の受入をしていなかったため全国から当法人めがけて毎日のように支援物資が大量に届き、それを関係団体ともシェアしながら配布に尽力。
被災者の方々のニーズは、日に日に変わりました。そのニーズに柔軟に対応できたのも皆様から頂いた支援金のおかげです。ありがとうございました。また、物資配布だけではなく、被災者の方々が安心して困りごとを語ってくださるので相談に乗ったり、行政につなげたりすることも出来ました。当法人だけではありませんが全国から寄せられた支援物資が転売されている事象が時々ありスタッフ一同の心が沈むときもありましたしかし、ほとんどの方がまだまだ心も生活も安定していない方々。これからもできる支援を摸索していきます。
(こども食堂部門：かなざわっ子nikoniko俱楽部)

8年前石川県内に4か所だったこども食堂「小学校区に1か所のこども食堂」をスローガンにして、やっと98か所になりました。震災後、各地域のこども食堂さんが被災者をささえる活動も行ってくれました。これからもこども食堂立上及び活動支援(ex,情報提供・集客協力・食材支援)を続け、地域でささえあえる居場所つくりのお手伝いをしていきたいと思っております。通常の活動にも引き続きご支援頂けますと幸いです。

寄付先

北陸労働金庫 金沢南支店
普通口座 3705372
名義人：(特非) ささえる絆ネットワーク北陸

2025年1月9日
NPO法人ささえる絆ネットワーク北陸

団体名	NPO法人紡ぎ組
所在地	石川県輪島市
主な活動内容	こどもの遊び場,学習支援
その他の内容	

○子ども縁日の開催
旧深見小学校校庭での縁日 (R6/4/7, R6/8/17, R7/4/12)
仮設住宅を巡る移動縁日 (毎月2回)

能登半島地震に係る
これまでの活動実績
○子供の遊び場づくり
旧深見小学校にて
Nゲージ、ジオラマ、サーキット場、立体パズルなど

○子供も大人も対象の草木染教室
自然の中を歩き、自然の色を布に染めるワークショップ

夏休み（7～8月）の
活動計画

○全日、のと復興留学生（全国の大学生）の受入れ
○8月23,24日、なつやすみ親子復興留学（全国の親子を対象とした輪島市深見町での被災地
体験イベント
○8月24日 深見町復興夏祭り（縁日）

被災地の子どもの居場所
づくりに関して課題に感
じていること

移動の足・・・移動支援事業もスタート
子ども達だけで遊べる場づくり
自然の中で学び遊ぶ場づくり

他団体、行政に聞いてみ
たいこと

団体名	居ばしょ食堂
所在地	石川県七尾市
主な活動内容	こどもの遊び場, こども食堂, 学習支援, 不登校支援, 親支援
その他の内容	

能登半島地震に係るこれまでの活動実績

- ・避難所等で食べ物の配布を兼ねたイベントの開催(2回)
- ・他団体と協働し、支援物資や食料品の配布
- ・避難所になつてない体育館で体を動かすイベント(3回)
- ・子どもの一時預かり、遊び場の提供
- ・預かった子どもへの昼食の提供

夏休み（7～8月）の活動計画

活動場所：居ばしょ食堂
 内容：学習支援、昼食提供(こども食堂)
 頻度：平日

活動場所：南藤橋町会館
 内容：子ども縁日
 日時：8/16（土）12時～16時

被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること

他団体、行政に聞いてみたいこと

団体名
所在地
主な活動内容
その他の内容

一般社団法人みらいのともしひ 代表理事 木村聰
(能登町にプレーパークをつくる会)

石川県鳳珠郡能登町

子どもの遊び場

その他の内容

宮城県名取市を拠点とする一般社団法人プレーワーカーズとともに、2024年4月から能登町内で「子どもの遊び場 能登町」を毎月1回のペースで開催しています。
開催場所の実績は柳田植物公園、真脇遺跡公園、日本海俱楽部、宇出津小学校、三波公民館で、広い能登町においてできる限りたくさんの子どもや子育て中の親たちがアクセスしやすいように各地で開催してきました。

■ 1年間の活動記録 <http://playworkers.org/news/2758/>

活動を開始・継続する背景には、

- ・震災後の危機的状況に置かれた子どもに対する「遊び」による心身のケアの必要性
- ・子ども同士での「外遊びの伝承」が難しい（少子化、過保護化、過度なリスク管理など影響）
- ・能登の自然を活かした冒険的な遊び／遊び場が震災前から足りない
- ・子育て世代の移住者（移住希望者）にとって日常の遊びの環境は期待外れといったことがあります。

能登半島地震に係るこれまでの活動実績

夏休み（7～8月）の活動計画

【子どもの遊び場 能登町】

7月20日（日）10～16時 能登町柳田植物公園
8月23日（土）10～16時 能登町宇出津小学校

【教職員研修】

8月22日（金）能登町教育委員会による町内小中学校の教職員を対象とした「遊び・遊び方研修」を、一般社団法人プレーワーカーズとともに実施予定

被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること

- ・被災地側での持続可能な組織体制
- ・安定的な活動のための資金調達
- ・常設の遊び場（プレーパーク）づくりに向けたプロセス管理
- ・保護者に頼らない子どもの移動手段確保
- ・子どもの（外）遊びに対する大人の理解向上
- ・中高生の放課後、余暇を充実したものにするための動きの欠如

他団体、行政に聞いてみたいこと

石川県庁は「被災地の子どもの居場所づくり」をどう考えているのか、この1年半何をしてきたのか、この先1～2年でどんなことを責任をもって取り組むつもりなのか（取り組まないつもりなのか）、を知りたい

団体名	特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会
所在地	東京都
主な活動内容	子どもの遊び場
その他の内容	<p>上記の活動を行う全国の団体の中間支援をしています。</p> <p>2025年2月に遊び場づくりで「つながる」能登半島ミーティングを実施。</p> <p>詳細は以下URLをご参考ください。</p> <p>https://bouken-asobiba.org/news/detail-893.html</p>

能登半島地震に係るこれまでの活動実績
夏休み（7～8月）の活動計画

HPから一部抜粋↓



被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること

9月に上記の取り組みの第二弾を実施予定。
7月～8月は実施にむけたミーティングを進めます。

被災地外から支援団体は来ているが、現地で活動する団体やプレイヤーになれる個人が少ない点。また、県庁の予算での遊び場の整備に関する動きが現時点では把握できていない点。

参考に東日本大震災の発災後～10年目の期間に行われた宮城県庁の予算による遊び場整備に関する事例をいくつか載せます。

- ・「みやぎ地域復興支援助成金」活用事業（2011～2020年）
地域団体やNPOに助成金を交付。仮設住宅周辺や被災地の公園整備、プレーパーク設置など。
- ・「子ども・子育て支援推進事業」
市町村と連携し、震災後の子育て環境改善を目的に、児童館の改修や屋外遊具の整備を支援。
- ・「災害公営住宅周辺の環境整備事業」
災害公営住宅の周辺に、子どもが安心して遊べるスペースを整備。
- ・「復興教育支援事業」
県教育委員会が、震災を経験した子どもたちの心のケアと健やかな成長を支援するため、遊びを通じた教育プログラムを実施。

他団体、行政に聞いてみたいこと

団体名	NPO法人ワンネススクール
所在地	石川県金沢市
主な活動内容	不登校支援,親支援
その他の内容	<p>https://www.oneness-school.org/index.php/notovolunteer/ 当団体ホームページ能登半島地震支援活動ページ</p> <p>HPから一部抜粋↓</p> <p>ボランティア活動の履歴～令和6年3月まで</p> <p>令和6年1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七尾市小牧コミュニティセンターにてスイーツ＆カフェ提供 ・輪島市門前中学校にて炊き出し ・輪島市黒島公民館にて炊き出し <p>令和6年2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンネススクール鳥越校舎にて雪中運動会開催（能登から避難中のご家族を招待） ・能登町松波小中学校にて給食提供（4回） ・能登町松波避難所にて炊き出し（4回） ・七尾市小牧コミュニティセンターにてこどもの遊び場開催（2回） ・ワンネススクール鳥越校舎にて能登に響けコンサート開催 ・ワンネススクール金沢校舎にて、ふらっと交流サロン（避難者の方が自由に交流できる居場所）開催（2回） <p>令和6年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七尾市小牧コミュニティセンターにてこどもの遊び場開催 ・七尾市小牧コミュニティセンターにて炊き出し ・能登島にて炊き出し（2回） ・能登町松波にて炊き出し ・ワンネススクール鳥越校舎にてこども自然体験開催 ・ワンネススクール金沢校舎にてふらっと交流サロン開催（4回） ・ワンネススクール鳥越校舎にて春の防災合宿開催 <p>夏休み（7～8月）の活動計画</p> <p>8月5～7日 富来、穴水、能登町などの学童や仮設住宅5か所でのコンサートやイベント開催。</p> <p>被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること</p> <p>他団体、行政に聞いてみたいこと</p> <p>当団体では過去2回、金沢大学と協力して、能登全域を対象に、地震で被災された子育て家庭にアンケートを取り、1回目は約850件、2回目は約560件の回答を得ています。被災した子育て家庭がいま困っている事、必要としている支援の形について回答してくれています。特に2回目のアンケートはこども自身の生の声も聴ける形になっており、どちらも金沢大学の先生によって見やすくまとめられ、必要な方々に自由にダウンロードしていただけます。能登支援かかわる行政の方、能登のために活動されている他団体の皆様にぜひご活用いただければ幸いです。 https://www.oneness-school.org/index.php/notovolunteer/ （上記ページの下部にアンケート結果が掲載されています）</p>

団体名	一般社団法人ばいにやこ村
所在地	富山県滑川市
主な活動内容	子どもの遊び場, こども食堂, 学習支援
その他の内容	

能登半島地震に係るこれまでの活動実績
富山県滑川市中滑川複合施設メリカ/こども食堂/週3回
富山県滑川市中滑川複合施設メリカ/こども食堂用フードバンク/月1回
石川県能登町柳田植物公園/青空こども食堂/月1回
石川県能登町柳田植物公園/地域コミュニティ再建のこども縁日/月1回

夏休み（7～8月）の活動計画

富山県滑川市中滑川複合施設メリカ/こども食堂/週3回
富山県滑川市中滑川複合施設メリカ/こども食堂用フードバンク/月1回
石川県能登町柳田植物公園/青空こども食堂/8月24日
石川県能登町柳田植物公園/地域コミュニティ再建のこども縁日/8月24日

被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること

活動拠点を増やしていきたいが、活動場所の確保が難しい。

他団体、行政に聞いてみたいこと

持続可能な取り組みにしていくために、物資や資金の調達をどのように行っているか。

団体名	NPO法人日本沼津災害救援ボランティアの会
所在地	静岡県沼津市
主な活動内容	その他
その他の内容	被災地児童への遊び提供

能登半島地震に係る
これまでの活動実績

富山県氷見市を拠点に、輪島や七尾で活動！
令和五年度～六年度 氷見キッズスクールを10数回開催。

夏休み（7～8月）の
活動計画

無し

被災地の子どもの居場所
づくりに関して課題に感
じていること

こどもが取り残されている感じなので、大変喜ばれました。しかし心の中ではしっかり被災
しており、私達の遊びで解放されたこともしり、嬉しかったです。

他団体、行政に聞いてみ
たいこと

地道な活動にも目を向けていただきたい！

団体名	一般社団法人プレーワーカーズ
所在地	宮城県名取市
主な活動内容	子どもの遊び場
その他の内容	

能登半島地震に係るこれまでの活動実績

2024年1月～8月
 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと連携し、現地調査、「こどもひろば」の開設、外遊びの場の開催を行なった。
 「こどもひろば」：七尾市、穴水町、珠洲市、輪島市の避難所等で開所。13回
 「外遊びの場」：輪島市、能登町、珠洲市の公園等で開催。17回

2024年9月～2025年3月
 「外遊びの場」：輪島市、能登町、珠洲市の公園等で開催。14回

2025年4月～6月
 「外遊びの場」：輪島市、能登町、珠洲市の公園等で開催。8回

概ね月に1回のペースで地域のキーパーソンとなる方と連携し、遊び場の開催を継続してきました。
 金沢の個人の方の協力のもと、プレーカーと呼ばれる遊び道具満載の車を全国各地のプレーカーが集まり、乗り合わせ、
 プログラムなしの自由な遊び場づくりをしています。

夏休み（7～8月）の活動計画

7/19:輪島市一本松公園
 7/20:能登町柳田植物公園
 8/23:能登町宇出津小学校(予定)
 8/24:輪島市袖が浜(予定)

被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること

大きな災害が起きた時、当たり前のように子どもの場所が使われます。もちろん、緊急的に「生活」を確保するために必要なことです。でも、子どもにとって遊ぶことは生きることそのもの。「遊び」にしか使えない空間を残しておくことはできないのでしょうか？
 これは、私たちが能登半島地震の被災地域で1年間活動する中で防災・減災の観点から次に伝えていくべきこととして気づいたことのひとつです。
 いかなる時期でも「遊び」が守られる社会のコンセンサスを。それを即座に実現できる日常からの繋がりや交流を。

この文章は、活動報告書に記載した内容ですが、つまり、平時からの「遊び」に向けられる眼差しが重要ということです。
 今からでも、これを広げていくことが必要なことであり、それがまだ広がっていない、広げるプレイヤーが少ないことが課題だと思います。

他団体、行政に聞いてみたいこと

宮城県は、東日本大震災の後、国の復興予算も使いながら、NPO団体を支援する仕組み、補助金などを作ってくれました。
 まちづくりの復興、子どもの生活、心の復興は、ハード整備よりもずっと時間がかかります。
 成果はとても見えづらいです。
 しかし、確実に必要なことですので、ぜひ先を見据えた計画づくりをお願いします。

団体名	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
所在地	広島県
主な活動内容	その他
その他の内容	<p>国際人道支援事業、災害支援事業、保護犬事業</p> <p>以下のホームページよりご確認ください https://arrows.peace-winds.org/record/noto_earthquake2024/</p> <p>HPから一部抜粋↓</p> 
能登半島地震に係るこれまでの活動実績	<p>被災地の子どもたちに新たな学びのきっかけを</p> <p>空飛ぶ搜索医療団では珠洲市においてコミュニティ支援などとともに、被災地の子どもたちへの支援を行っています。</p> <p>2月16日に、子ども向けのプログラミングイベントを開催しました。</p> <p>2025年2月25日記事より詳細をご確認ください。</p> <p>インスタントハウスを復興のシンボルに。石川県珠洲ホースパークで“能登復興祭”を開催</p> <p>2024年7月20日、令和6年能登半島地震で被災した石川県珠洲市にて珠洲ホースパークを運営する「みんなの馬株式会社」様のご協力のもと、「能登復興祭」を開催しました。石川県珠洲市の地域コミュニティ支援の一環として企画し、NGO、企業、馬、自然、食、アートが融合した複合的なイベントの様子をお伝えします。</p> <p>2024年8月27日の記事より詳細をご覧ください。</p> <p>活動場所：珠洲市 内容：珠洲市における親子の活動・交流の拠点づくり 8月10日～8月31日の期間、子どもの活動の拠点を運営。珠洲市との協働で珠洲市における親子の活動・交流の拠点づくりを進めています。この夏休みはプレオープンの形で企業、民間団体、大学等の協力を得て子どもたちの居場所を運営します。</p> <p>被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること 人材の確保</p> <p>他団体、行政に聞いてみたいこと</p>

団体名	特定非営利活動法人Chance For All
所在地	東京都足立区
主な活動内容	子どもの遊び場,その他
その他の内容	学童保育、対象を絞らないこどもたちの居場所
能登半島地震に係るこれまでの活動実績	<p>のと復耕ラボの右腕としての活動</p>  <p>【活動実績】(4月15日～5月12日) あそび場実施：5箇所 あそび場回数：20回 こどもの参加人数：のべ168人</p> <p>【主な活動】 ・三井小学校のこどもたちの放課後のあそび場を運営。 ・GW、土日の輪島市三井町でのあそび場やイベントを実施。 ・地域の中高生の居場所「わじまティーンラボ」の運営手伝い、バックオフィスサポート</p>
夏休み（7～8月）の活動計画	<p>#能登で最高の夏休みプロジェクト</p>  <p>【活動実績】(7月20日～8月31日) あそび場実施：18箇所 あそび場回数：30回 こどもの参加人数：のべ668人</p> <p>【主な活動場所】 ・社会福祉協議会様と連携し、輪島市学童5箇所をブレイカーで周り、あそび場を実施。 ・珠洲市教育委員会様、金沢大学様と連携し、珠洲市の放課後こども教室4箇所をブレイカーで周り、あそび場を実施。 ・その他仮設住宅、公園などでもあそび場を実施。今までこども支援の手が薄かった地域、こどもが6人の地域でも、ブレイカーの機動性を活かしてあそび場を実施</p>
被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること	<p>能登半島豪雨以降の活動</p>  <p>【活動実績】(9月22日～) あそび場実施：15箇所 あそび場回数：140回 こどもの参加人数：のべ2808人 ボランティア参加者：のべ95人</p> <p>【主な活動内容】 ・県道から現地入りして輪島市各地でヒアリング調査。 ・学校再開、学童再開までの緊急時のあそび場実施。 ・災害急患期以降も12月までボランティアを募集し、現地アテンダントながら毎日あそび場を開催。 ・多くの団体、企業と協力し、ボランティア募集、クリスマスのこどもたちへのプレゼント配り企画などを実施。</p>
他団体、行政に聞いてみたいこと	<p>定例的な活動 平日：輪島市マリンタウン付近で週2日程度ブレイカーあそび場 土日：輪島市町野、三井、門前地区でブレイカーあそび場</p> <p>その他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭りやイベントへのブレイカーあそび場出店 ・企業ボランティアの受け入れ ・輪島市三井地区の「森のあそび場づくり」 ・地域のこども支援団体のサポート <p>・1年以上被災地支援として遊び場を実施してきたが、被災地支援という枠組みを超えて恒常に能登のこどもたちに遊び場を提供できないかと考えている。 ・そのうえで、現地の方を巻き込んだ活動をしていければと考えているが、現状そのための手段が見えていないことが課題である。</p> <p>・被災地としてのフェーズが移り変わっていくなかで、今後の活動の見通しやどのようなビジョンを持っているかという点についてほかの団体にお聞きしたい。 ・行政においては、他県から被災地支援という形で能登に滞在する弊団体のような団体に対して、今後のフェーズにおいてどのような役割を期待しているかをお聞きしたい。</p>

団体名	一般社団法人カウンセラーカレッジ石川
所在地	石川県金沢市
主な活動内容	その他
その他の内容	石川県のSNS相談事業を受託、運営
能登半島地震に係るこれまでの活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS相談 ・被災地ボランティア（傾聴カウンセリング） ・仮設住宅地コミュニティづくりのサポート（他団体との協働）
夏休み（7～8月）の活動計画	SNS相談は通年実施（被災地支援を含む幅広い相談を受ける　虐待、ヤングケアラー、DV等を含む）
被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること	<ul style="list-style-type: none"> ・（幅広い意味での）多職種の連携 ・子どもたち・保護者・学校への情報提供（どのぐらいニーズが有るのかも含めて） ・現地に関する居場所づくりまたは実施活動状況の情報収集
他団体、行政に聞いてみたいこと	SNS相談をご存知ですか 連携をぜひお願いしたいのでご検討いただけますか

団体名	石川県シェアリングネイチャー協会
所在地	石川県金沢市
主な活動内容	子どもの遊び場
その他の内容	

能登半島地震に係る
これまでの活動実績

奇数月第2日曜日 能登島仮設住宅訪問
偶数月第2土曜日 輪島市町野小学校・東洋中学校PTAリクレーション活動

夏休み（7～8月）の
活動計画

なし

被災地の子どもの居場所
づくりに関して課題に感
じていること

大人が遊び場を提供しないと遊べないのは、子どもたちがどうしても受け身になってしまうので、主体的に遊べるようになるといいと思う。が、子どもたちの生活状況や環境を良く知
らないので、具体案があるわけではない

他団体、行政に聞いてみ
たいこと

団体名	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
所在地	東京都千代田区
主な活動内容	子どもの遊び場、親支援、その他
その他の内容	緊急支援に限らなければ、日本国内で子どもの貧困問題や地域で活動するNPOの支援を行っています

能登半島地震に係るこれまでの活動実績



夏休み（7～8月）の活動計画

被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること

・能登子どもスポーツ・文化ファンドという助成事業を行い、スポーツ少年団や伝統芸能・文化活動を資金的にサポート予定

・居場所として物理的な活動地で行う場合、被災の影響や移転などの問題からそこにアクセスできる子どもが限られてくる。アウトリーチ的な活動が求められる中、子どもが分散しており、なかなか人数が集まりづらい

他団体、行政に聞いてみたいこと

継続的な居場所の活動を行うにあたり、地域のリソース（人員・場所）がどれくらい確保できているのか

団体名	認定NPO法人おやこの広場あさがお
所在地	石川県白山市
主な活動内容	こどもの遊び場,親支援,その他
その他の内容	地域子育て拠点事業、利用者支援事業、一時預かり事業、子育て短期支援事業、訪問支援、相談など https://www.oyako-asagao.com

HPから一部抜粋↓

自分たちに何ができるのか…
発災後、動かすにはいられないという気持ちから
すぐに始めた支援
直接出向き、現状を見て、話しを聴き
深く傷ついた心に寄り添いながら活動を続けています



能登半島地震の支援

- ・他団体と協力してこどもや子育て家庭に必要な支援物資集め
- ・支援者ネットワーク「のと応援隊」形成
- ・妊産婦避難所の生活サポートとこどもの遊び場運営
- ・物資提供
- ・サロン開催
- ・2次避難所で交流相談を定期開催
- ・被災地区訪問
- ・豪雨災害支援
- ・支援者支援巡回訪問
- ・ボランティア、学生さん達との活動



能登半島地震に係るこれまでの活動実績

夏休み（7～8月）の活動計画	特に予定なし
----------------	--------

被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること

もともと、社会資源を活用した居場所機能が少なかったところに、震災で新たにつくるところから動かなくてはならず、現地の状況やニーズをキャッチできているキーマンもわからなかった。

日頃から県域でのこども関係のネットワークを構築しておく事が大事。

他団体、行政に聞いてみたいこと

能登地区以外の行政（こども、子育て部局）の支援が見えなかった。どんな民間団体がどんな支援をしているのかせめて地元の動きは把握してバックアップしてほしい。
県内でも様々な民間が動いているので、息の長い支援を継続していくために県内の支援者をもっと活用してほしい。

団体名	ヤングケアラー プロジェクト いしかわ
所在地	石川県金沢市
主な活動内容	その他
その他の内容	ヤングケアラー当事者および元当事者の居場所づくりなどの支援活動ほか

能登半島地震に係るこれまでの活動実績

とくになし
(対象は、石川県全域としています)
対面の活動「カフェ」は現在、金沢市内において継続開催
オンライン「カフェ」は県内全域在住の方を対象

HP
<https://youngcarerprojectishikawa.hp.peraichi.com/>

発災（2024年1月）直後、団体活動をお知らせする発送を奥能登地域には控えた経緯あり

夏休み（7～8月）の活動計画

7月24日（木）13:30～個別相談会（対面／オンライン・予約制）
7月25日（金）20:00～カフェ（オンライン）
8月19日（火）13:30～個別相談会（対面／オンライン・予約制）
8月23日（土）14:00～「北陸きょうだい会」イベント※
8月24日（日）10:00～カフェ（リアル・於：金沢市）

※「北陸きょうだい会」は当団体の協力団体で北陸地方でのきょうだい児・者支援を行っています
8/23は、主にきょうだいさんである小学生とその保護者を対象とするイベントを開催します

被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること

ヤングケアラーとしてのニーズが表面化しづらいこと（大人が復興に向けて頑張っていてガマンしていることを子ども達も受け止めているので、ケアラーとしての認知が薄い）

そもそも「ヤングケアラー」の周知啓発がまだ行き渡っているとは言えない
なかなか現地に入って活動できるメンバーがない

ヤングケアラーに特化した居場所づくりというよりも、こどもがこどもしくいられる居場所のコンセプトに、ヤングケアラーやきょうだい児という概念も共に考えていくかどうか、という点にはまだまだ改善・向上の余地あります

他団体、行政に聞いてみたいこと

「ヤングケアラー」をご存知ですか？

団体名	避難者・被災者支援サポートボランティア「ひなさぽ」
所在地	オンラインと奥能登中心
主な活動内容	その他
その他の内容	相談
能登半島地震に係るこれまでの活動実績	<p>ひなさぽ子ども支援サークルでは、奥能登の先生方や親御さんとお会いして直接お話をする中で、必要と感じた支援を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験活動支援：豪雨直後、園庭や園舎での体験活動が困難になった輪島市の子ども園を対象に自然体験活動支援を3回行いました。 https://www.facebook.com/hinasapo/posts/pfbid0aqtajAx7bF3PFQ98vv3NvwyZdinrmPwoAwAk23p8JkSMaoL9oghEaP6cnhxQhWGel ・空気調査：豪雨の影響での空気汚染を先生方が心配されていたことから園に空気計測器を持ち込んでの調査を行いました。 ・出産と子育てに関するアンケート調査（予定）：奥能登での出産に困難を感じているというお悩みをお聞きし、乳幼児を持つ親御さんのお悩みの言語化と情報発信を支援する予定です。
夏休み（7～8月）の活動計画	<p>8月中 アンケート調査の発信 8月後半 中間報告 9月中 アンケート結果の分析と報告</p>
被災地の子どもの居場所づくりに関して課題に感じていること	支援者のネットワーク作りがとても大事だと思っていましたので、今回のような取り組みが続くことを期待しております。
他団体、行政に聞いてみたいこと	アンケートの告知にご協力いただけるようでしたら幸いです。